

祝

防災功労者 内閣総理大臣表彰 受賞

賀露地区自主防災会連絡協議会が、「令和6年防災功労者内閣総理大臣表彰」を受賞しました。

令和6年9月13日(金)、総理大臣官邸にて表彰式が行われ、芥島連絡協議会会長が出席しました。

受賞の理由は、永年にわたり自主防災会・防災リーダー・避難所開設担当者などが中心となり、災害時の安否確認や避難所開設の訓練、防災研修等を継続して実施し、地域の防災体制の整備に多大な貢献をしたというものであり、地域住民の防災意識や自助共助の意識向上につながっていることが高く評価されました。

これはひとえに、先達の先進的取組と町内皆様の高い防災意識による活動の賜物です。今後とも、地区自主防災会連絡協議会（各町内会自主防災会・賀露町自治会）として、町内の皆様と共に賀露校区の安心安全の土台作りに邁進していきたいと考えます。



令和6年
新設 防災功労者内閣総理大臣表彰



第58号

令和7年3月31日発行
発行
賀露町自治会



H18 年鳥取市総合防災訓練
白浜グランド



H24 年鳥取市総合防災訓練
白浜グランド



H27 年地震津波防災訓練
賀露公園

新年度のあいさつ 自治会長 芥島寿美

この1年間、賀露町及び南限の会員の皆様と共に各種活動を実施し、多くの方々に参加ご協力いただき感謝申し上げます。この地で当たり前のように安心安全な生活ができていることに、幸運を感じる時があります。一見何の変化もないような賀露校区であっても、時の流れと共に、地域の風景や人々の生活様子は変化しています。しかし、変わらないのは自治会や町内会における真摯な助け合いです。

今後の自治会・町内会として取り組むべき最重要課題は、これから頻発(ひんぱつ)するであろう地震・津波・大雨・洪水など大災害に対する「自助防災」(自分ごととしての防災)と「共助防災」(助け合う防災)の事前準備、防災意識の高揚と対策です。一人一人が自分ごととして考え、自治会・町内会もその重要性を認識し、具体的な対策を考えて行動していくことが大切と考えます。



賀露校区民大運動会 5/26
スローガン「最後まで力をあわせて優勝
ねらってがんばろう」校区民の大声援
がグラウンドに響きわたりました。



第4回賀露校区民文化祭 10/6
好天に恵まれ校区民全力の支援と参加
で大盛況でした。子どもたちの活躍にた
くさんの笑顔があふれました。



賀露地区一斉防災訓練 11/10
避難所開設訓練では地区体育館にて避
難者の居住区画設定、間仕切の組立と
設置を行いました。

賀露町三大事業

自治会 令和7年 運営方針

健康で明るく楽しい賀露町とするため、町内住民と共に、率先して「賀露町のまちづくり」をすすめます。

【5つのキーワード】

1. 安心安全なまち（防災・防犯・交通安全活動）
2. 互いに助け合い子育てしやすいまち
（住民相互の連携連帯、世代間交流）
3. 人権を尊重するまち
（福祉活動をすすめ、住民お互いが思いやりを持つ）
4. 明るく住みやすいまち
（騒音・不法投棄解消・草刈りなどの環境整備）
5. 歴史や文化をはぐくむ（育てる）まち
（賀露町の歴史・伝統文化・行事継承発展）

令和7年 自治会役員

会 長 芥島寿美
副 会 長 石黒 智 綱田喜一
顧 問 島谷龍司
監 事 林 美喜夫 岡村吉彦
浜部 功

事務局長 美川裕教

理 事

1区 小谷 拓 2区 影井博行
3区 泡田秀美 4区 宮本 清
5区 浜本 誠 6区 浜橋喜幸
7区 奥田禎彦 8区 林 勝美
上浜区 藤田 聡 西浜区 今嶋 敬

南隈区長 石田克志

※令和5年から南隈町内会と連携活動を行っています。

..... 令和6年の主な出来事

能登半島地震への支援

令和6年元日に発生した能登半島地震では、津波や家屋の倒壊などにより多くの被災者が長期にわたる避難生活を余儀なくされました。石川県志賀町に位置する福浦港は、北前船の寄港地として古くから賀露町と交流があります。賀露町自治会は、地域の皆様から災害義援金を募り、志賀町役場へお届けしました。

大規模災害時における放送確保の協定

大規模災害時においてNHK鳥取放送局の放送を確保するため、賀露地区公民館及び白浜グランドの施設・敷地の使用について、鳥取市・賀露自治会・NHK鳥取放送局三者による覚書を締結しました。

鳥取港周辺駐車場の適正利用

鳥取港湾事務所より、西浜緑地駐車場及び賀露緑地駐車場の適正利用を図るための運用方針が示されました。看板や監視カメラの設置、不適切な利用者に対しては告知文書による注意や警察への対応相談など、賀露を訪れる方々に気持ちよく公園を利用していただくことを目的とした運用方針となっています。

原子力防災避難計画について

島根原発で事故が起き、UPZ（緊急時防護措置準備区域）30km 圏全域に避難指示が出された場合、計画では賀露地区の小学校、地区公民館、海洋の家体育館が境港市上道7区の方々の避難先に指定されています。鳥取県が白浜グランドへの駐車可能台数の調査を行ったところ、315 台が駐車可能であるとの報告がありました。

クルーズ客船「ル・ソレアル」の鳥取港入港

平成6年4月15日、クルーズ客船「ル・ソレアル」が鳥取港に入港しました。鳥取港1号岸壁において、多くの校区民が入港・出港時のお出迎え、お見送りを行いました。



客船 ル・ソレアル

鳥取空港滑走路延長整備に伴う鳥取県との契約

鳥取空港滑走路延長整備に伴い、鳥取県と自治会用地の売買契約及び損失・物品補償契約を締結しました。また、工事資材等の置き場として空き地を提供することとして、賃貸借契約を締結しました。

令和6年4月から地区公民館の使用方が一部変わりました

地区住民の利用に加え、民間企業なども利用できるようになりました。地区住民や営利を目的としない団体などが地域活動や社会教育活動を行う場合は無料となりますが、その他の場合は有料となります。地区住民は1年前から予約でき、民間企業や地区外住民が使用する場合は、使用日の一カ月前から予約できます。

令和6年 団体活動トピックス

社会福祉協議会

「健康寿命」を延ばしていただけるよう、75 歳以上のひとり暮らしの方などを対象にミニデイサービスを開催しました。(9 月六区公民館、10 月八区集会所)

6 月に開催した「ひとり暮らし高齢者の集い」は、神崎神社の参拝と鳥取林養魚場でのサーモンの餌やり見学でした。

賀露地区健康づくり推進委員会

健康講演会で、「賀露地区は高血圧・肝機能の有所見の割合が高く、改善するためには日々の生活習慣の見直しが大切」とのお話がありました。

賀露女性の会（婦人会）

味噌づくり、防災食づくりを地域の皆さんと楽しみました。1、2、5、6、7、西浜、上浜区婦人会と緩やかに繋がり活動しています。

民生児童委員協議会

11 月、西日本豪雨災害から 6 年経った倉敷市真備地区を訪問し、被災者の方から当時のことや現在の復旧状況をお聞きました。また、吉備真備の縁で賀露神社が真っ先にお見舞いに来られたとのこと。真備の方から「まきび公園」内の茶室でお茶の接待をして頂き、交流の大切さを痛感しました。

体育会

第 67 回鳥取市民体育祭 A グループで、賀露校区は総合第 2 位の成績をおさめました。

交通安全協会賀露支部

ぬいぐるみをかぶった支部員が、わったいなでは交通安全 P R を、保育園では交通ルール指導の先生になりました。

環境部

賀露町は、鳥取市のアダプト活動認定団体として、市道賀露幹線の除草作業や遮光シート張り活動を行っています。今年度もボランティア約 80 名の参加をいただきました。

賀露地区老人クラブ連合会

賀露地区全域の高齢者を対象に、6 月はグラウンドゴルフ大会を、11 月は高齢者研修バス旅行（天橋立周辺）を行いました。

かるバウンスボール さくらの会

ねんりんピック
はばたけ鳥取 2024
バウンスボール交流
大会（女子の部）で
準優勝しました。



．．．．．人権啓発コーナー 賀露地区人権啓発推進協議会．．．．．

2024 年度は、小地域座談会を 10 町区で開催しました。高齢者の人権、アンコンシャスバイアス、ジェンダーバランスなどを取り上げ、自分も相手も尊重できる社会を目標に学習し、理解を深めました。また、湖東ブロック（賀露地区担当）人権啓発推進員研修では、各地区の人権啓発推進協議会が抱える問題点を共有し、次年度の活動につなげられるよう意見交換を行いました。



～ 活 動 状 況 ～

○ 総会・第 1 回協力員研修 5/31

『部落問題があり続ける社会』を変えるために

講師 中江美紀 氏

○ 第 2 回協力員研修（賀露小学校共催）11/5

『こどものため』にではなく『こどもと一緒に』

講師 藤野謙一 氏

○ 現地視察研修 12/5

ウイズユー（晩稲・下段作業所）見学

○ 小地域座談会 10 町区開催 参加者延べ 142 人

DVD「話せてよかった」、「言葉があるから」

「大切なひと」、「永遠の記憶」、「夕焼け」

○ 湖東ブロック研修

「アイヌ民族の歴史と文化」

「納得度で考える家庭内のジェンダーバランス」

○ その他各種研修参加

・鳥取市主催推進員研修（参加 5 名）

・人権尊重社会を実現する県研究集会・市民集会

子どもたちの学力向上に向けた賀露小学校の取組について

鳥取市立賀露小学校 校長 岸田靖弘

賀露小学校では、令和6年度から、子どもたちの「確かな学力の向上」に向けて「シン・学力向上プラン」という取組を実施しています。「確かな学力」とは、ペーパーテストで測ることができる従来の学力だけでなく、「学びに向かう意欲」や「自分で課題を見つける力」などを合わせた学力のことです。本プランでは、「40分授業午前5時間制」と「チーム・学年担任制&教科担任制」の2つの取組を柱としています。

本プランを実施して1年が経とうとしていますが、取組の成果として、児童アンケートの肯定的回答率が大きく向上しました。「学校が楽しい 92.6%」「授業に進んで取り組んでいる 97.7%」「学校の先生は私のことを分かってくれている 96.0%」など、多くの項目でこれまでの最高値となりました。

また、「学年・チーム担任制でいろいろな先生と話がしやすくなった（4年生以上） 92.4%」の結果からも、複数の教員がチームで子どもの指導・支援を行うことで様々な効果が上がっていると考えています。

本校のチーム担任制は、鳥取県の小学校では初の取組となります。他の学校や教育委員会からも注目され、県内外から多くの視察や問い合わせを受けました。来年度も、子どもたちの学力をさらに伸ばしていくために、教職員一丸となってこの取組を進めていきますので、引き続き、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



学習発表会

令和7年度に向けて

鳥取市立湖東中学校 副校長 桶谷大志

本校は、令和7年度の新入生から「新制服」となります。また、4月より完全に「新校舎」での生活となります。工事期間中は、生徒・職員はもちろんのこと、保護者・地域の皆様にもご不便をおかけしましたが、ご理解・ご協力いただき、感謝申し上げます。

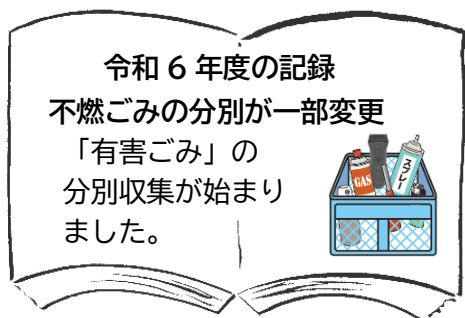
生徒たちには、引き続き、新校舎を大切に使用するとともに、学習や部活動に全力で取り組み、充実した学校生活を送ってほしいと願っています。教職員一同、しっかりと生徒たちを支援していきたいと思ひます。

先日、3年生を対象に「地域人材を活用した面接指導」を行いました。湖東中校区から21名の方々に面接官としてご指導いただきました。賀露地区公民館の3名の職員の皆様にもご協力いただきました。この面接では、いくつかの質問の1つに「自分の住んでいる地域の良いところは何ですか」という質問を設定しました。自分の住んでいる地域のために何ができるかを考え、実行し、地域の良いところを語れる生徒を育てたいと考え、設定しました。学校と地域がお互いの役割を認識しつつ、未来を託す次のランナーである子どもたちを連携・協働して育てていきたいと思ひます。

来年度も、地域行事や面接ボランティアを含めた学校教育活動等で生徒たちがお世話になると思ひますが、地域の皆様よろしくお願ひいたします。



新制服



賀露町の人口動態

(令和6年12月末現在)

- ・世帯数 2,202 戸
- ・人 口 5,040 人
- (男) 2,405 人
- (女) 2,635 人

